

令和6年度
愛知県栄養教諭研究協議会
要 覧

I 協 議 会 の 紹 介

目的

学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

会長あいさつ

本協議会の会員は、愛知県内の小中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校などに勤務する、283名の栄養教諭・学校栄養職員です。それぞれの職場において、日々、学校給食の充実と食育の推進に務めています。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、さまざまな教育活動がコロナ禍以前のように戻りました。給食の時間には笑顔で話しながら楽しそうに会食する子どもたちの姿が見られるようになりました。また、学級担任や栄養教諭が、給食を教材として食に関する指導を行ったり、偏食や肥満、やせ等食に関する課題のある児童生徒への言葉かけを行ったりと、より充実した取組を進めることもできるようになりました。

児童生徒が望ましい食習慣を身に付けることは、健康な心身を育み、将来にわたって健全な食生活を実践するために欠かせません。そのため、栄養教諭には、学校の教育活動全体で食育に組織的に取り組む「マネジメント力」や、教職員及び家庭・地域とさまざまな場面で連携して食に関する指導を進める「コーディネート力」を高めていくことが求められています。

令和5年1月に文部科学省より報告された「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」議論の取りまとめを踏まえて、同年7月には、「養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則の参考例等の送付について（通知）」が発出されました。その中には、「栄養教諭がその専門性を発揮し、本来の職務に集中できるような環境を整備していくことが必要」とありました。栄養教諭が食に関する指導と学校給食の管理という職務を十分に果たすことができるよう、さらなる資質能力の向上や業務効率化に努め、子どもたちの将来にわたる心身の健康の一助となるよう取り組んでまいります。

関係機関の皆様には、今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 服部 裕子

活動目標

「食を通して育てよう、未来を担う愛知の子どもたち！」

基本方針

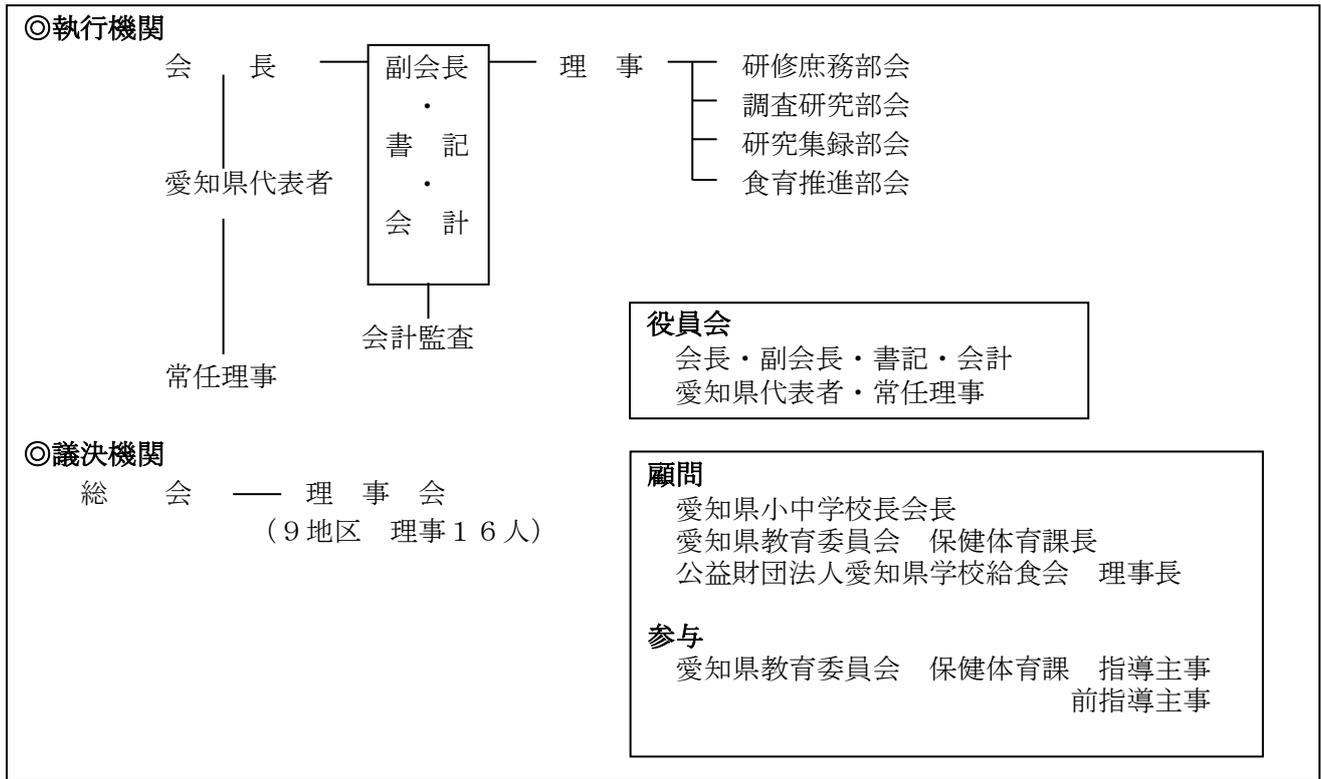
近年の食を取り巻く環境の変化により、子どもたちの食に関わる課題は多様化・複雑化している。偏った栄養摂取や不規則な食事などの食生活の乱れ、肥満や過度のやせ、食物アレルギー疾患など食に関する健康課題のある子どもたちは増加傾向にあり、今後の子どもたちの健全な成長に影響を及ぼすことが危惧される。

このような中、生きる力の基盤となる食を通して、次世代を担う子どもたちの望ましい食習慣の形成と生涯にわたる健康の保持増進、ならびに豊かな人間性を育むため、栄養教諭等として専門性を発揮し、学校における食育の充実と一層の推進を図ることが大切である。

そのためには、「あいち食育いきいきプラン2025～第4次愛知県食育推進計画～」や今年4月より適用された「健康日本21（第三次）」を踏まえ、学校教育活動において子どもの実態や地域の状況に沿った食育を計画的・継続的に推進するとともに、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」（文部科学省）の議論を受けて、研究や研修等を充実させることが重要である。

子どもたちの健やかな成長のために、栄養教諭等の専門性を高め、学校における食育の中核的な役割を担う教育職員としての資質向上を図る。

Ⅱ 研 究 会 組 織 図



※常任理事（公益社団法人全国学校栄養士協議会 理事）
愛知県代表者（公益社団法人全国学校栄養士協議会 愛知県代表者）

愛知県栄養教諭研究協議会 会則（抜粋）

（本部）

第2条 本会の本部は、会長在任所属に置く。

（目的）

第3条 学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

（組織）

第4条 本会の会員は、愛知県内の栄養教諭・学校栄養職員等とする。

（事業）

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため、次のことを行う。

- (1) 学校における食育の推進と学校給食の充実向上に関する調査研究に関すること。
- (2) 会員の研修その他資質の向上に関すること。
- (3) 愛知県教育委員会その他関係団体との連携に関すること。
- (4) 会員の社会的地位の向上と職務の確立に関すること。
- (5) その他目的を達成するために必要なこと。

Ⅲ 協議会の事業

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
研修会 及び 総会の 開催	5月25日(水) 総会(出席264名・委任状21名) 《研修会》 講演 「家庭科教育の意義と育成する資質・能力」 金城学院大学 生活環境学部 生活マネジメント学科 教授 上野 顕子氏	5月24日(水) 総会(出席260名・委任状20名) 《研修会》 講演 「これからの栄養教諭の在り方」 愛知県教育委員会 保健体育課 指導主事 小田 敦子氏	5月22日(水) 総会(出席249名・委任状32名) 《研修会》 講演 「SDGs(持続可能な開発目標)」 愛知県政策企画局企画調整部 企画課 加藤 健太氏
研究大会 の開催	8月9日(火) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席255名) ・地区別研究発表(2題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 伊藤 正志氏 ・教育講演会 「令和の日本型学校教育を深める」 岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 玉置 崇氏	8月23日(水) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席262名) ・地区別研究発表(2題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 天野万喜男氏 ・教育講演会 「栄養教諭のキャリア発達-チーム 学校での専門性発揮のために-」 愛知みずほ大学 人間科学部心身健 康科学科 准教授 後藤 多知子氏	8月20日(火) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催予定 (出席 名) ・地区別研究発表(2題) 指導講評 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 天野万喜男氏
調査研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究
研究集録 の発行	研究集録「はぐくみ」 令和5年3月(第32号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和6年3月(第33号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和7年3月(第34号)発行予定
機関誌を ホームページに 掲載	機関誌「みのり」 令和4年10月18日(第105号) 令和5年2月15日(第106号) 年2回掲載	機関誌「みのり」 令和5年10月23日(第107号) 令和6年3月11日(第108号) 年2回掲載	機関誌「みのり」発行終了

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自主研修会 開催	<p>◎食に関する指導研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（オンライン） 10月22日（土） 参加者175名 「発達障害のある児童生徒の理解と支援」 愛知県総合教育センター相談部 特別支援教育相談研究室 研究指導主事 柴田 朋宏氏 ・第2回（対面） 11月27日（日） 参加者135名 「楽しくなきゃ社会じゃない！～全員参加型授業にご招待!!」 名古屋芸術大学 教育学部 子ども学科 准教授 土井 謙次氏 <p>◎地区別研修会12回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 新規採用栄養教諭研修 9月11日（日） 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】終了後のフォローアップ研修 7月24日（日）</p>	<p>◎資質能力向上研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（対面） 12月17日（日） 参加者 153名 「個別的な相談指導をすすめるために」 愛知県教育委員会 保健体育課 指導主事 小田 敦子氏 ・第2回（ハイブリット） 2月18日（日） 参加者 181名 「食物アレルギー対応の基礎基本」「献立作成の基礎基本」「学校給食献立表に関する表記方法」 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏 「個別的な相談指導の実際」 大治町立大治南小学校 森田 咲紀氏 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 「食に関する指導を学び直す」 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 <p>◎地区別研修会 15回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校 にじの丘学園） 杉野 由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭少経験者研修会 12月 3日（日） 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 11月23日（木）</p>	<p>◎資質能力向上研修会 月 日（ ）</p> <p>◎地区別研修会 回開催 各地区の課題解決に向けた研修</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 新規採用栄養教諭研修会 月 日（ ） 栄養教諭少経験者研修会 月 日（ ） 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】修了者研修会 月 日（ ） 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 月 日（ ）</p>
栄養指導用 教材作成	食に関する指導教材 「スタンプ（ゴム印）」を作成	食に関する指導教材 「ネームホルダー用ストラップ、 ご褒美シール」を作成	食に関する指導教材の作成中止

事業内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全国理事会等の参加 (1)公益社団法人全国学校栄養士協議会の参加	東京都・リモートにて14回	東京都・リモートにて21回	東京都・リモートにて 回予定
(2)学校給食夏季講習会派遣	第58回学校給食夏季講習会 7月16日～17日 オンライン形式・動画配信	第59回学校給食夏季講習会 7月22日～23日 オンライン形式・動画配信	第60回学校給食夏季講習会 7月20日～21日 オンライン形式・動画配信
(3)全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会等参加	第63回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 8月4日～8月5日 (大分県)オンライン形式	第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 8月3日～8月4日 (鳥取県)対面開催	第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 8月1日～8月2日 (長野県)対面開催
役員会の開催	8回開催	18回開催 (リモート開催含む)	回開催予定
理事会及び部会の開催	7回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会 「第17回食育推進全国大会 in あいち」参加	7回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会	7回開催予定 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会

IV 栄養教諭の取組

◎将来の健康を考え、規則正しい食生活を実践できる子の育成

「朝ごはん学習カリキュラム」を活用した指導実践例（豊川市）

豊川市では、20歳代の朝ごはんの欠食率が高く、「食べるより寝ていたい」といった朝ごはんを軽視した理由の人が多し。また、A小学校の児童は朝ごはんを食べてきているが、朝ごはんの栄養学的な効果に目を向けている子は少ない。そこで、将来の健康を考えて規則正しい食生活を実践できる子を育みたいと考え、以下のような実践を行った。

①「朝ごはん学習カリキュラム」の構築

学校保健委員会や教科等に関連させて計画し、思考や意欲の継続化を図ったことで、朝ごはんと生活リズムの重要性を理解することができた。また、学習したことを保護者や地域、他学年に伝える活動を取り入れたことで、さらに理解を深めることができた。

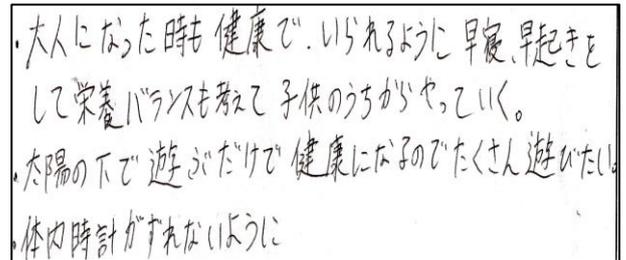
②「大人になった時の健康」を意識させる。

生涯のライフステージに関わる管理栄養士が集まった

「豊川市食育ネットワーク」を活用したことで、大人になった時の健康に目を向ける一助となった。また、6年生は食べる人を想定して調理した朝ごはんについて栄養学的な効果を紹介した「卓上カード」を企業の食堂に、4年生は「食生活標語」を地域のスーパーに設置させていただいた。設置したのを見た大人から食生活を見直した内容の手紙をいただいたことで、大人になってからの健康を身近に感じることができた。

③「食生活マイレージ」の定期的な実施

規則正しい食生活を送ることで、将来の健康に向けてのコインが貯まる「食生活マイレージ」を定期的の実施した結果、自分の食生活を改めて見直すことができた。



【6年生児童のワークシート】

◎地場産物のよさに気づき、残さず食べる子の育成

地場産物の栽培活動や「地産地消の日給食」を活用した指導実践例（新城市）

本市A小学校の2年生児童を対象に実施した令和3年度のアンケート結果より、新城市の地場産物を知らない児童は約9割と多く、食べ物を残さずに食べようとする児童は約6割と少ないことが分かった。そこで、給食で使われている地場産物を学び、そのよさを知ることで、食べ物を残さず食べようとする心を育むことができるのではないかと考え、以下のような実践を行った。

生活科では、あいちの伝統野菜に選定されている地場産物「八名丸さといも」の栽培活動に取り組んだ。栽培活動の中で八名丸さといもの生産者である「八名丸名人」や規格を決めているJAの「八名丸博士」と交流することで「八名丸さといもを食べたい」という思いを高めた。また、育てた八名丸さといもをおいしく味わう機会を設定することで、残さず食べようとする姿へとつなげることができた。

さらに、地場産物のよさを感じてもらうために、毎月の給食に「地産地消の日給食」を設定し、継続的に地場産物のおいしさを味わう機会を設けた。新城市役所農業課やJAと連携することで、今までより多くの地場産物を給食に取り入れる仕組みを構築し、前日に収穫された新鮮な食材を味わうことができた。「地産地消の日給食」の実施日には、給食だよりや動画で生産者を紹介した。生産者の思いを知り、地場産物は「新鮮でおいしい」というよさに気づき、苦手な野菜にも向き合おうとする児童の姿が少しずつ見られるようになった。



【八名丸名人との交流の様子】

◎「地場産物を活用しよう」

学校給食で地場産物を活用することは、児童生徒や保護者が地域や地域の産物、食文化への理解を深め、より豊かな食生活を送るための意欲を高める機会となる。愛知県では、6月19日の「食育の日」を中心に「愛知を食べる学校給食の日」等の名称で年3回、学校給食に地場産物を取り入れた献立を提供し、おたより等で啓発する取組を行っている。

地域の食材を取り入れた献立と取組の紹介

新城市

新城市では、「愛知を食べる学校給食の日」の取組として、新城市でとれる奥三河ほうれん草を使ったみそ汁や、愛知県でとれる食材を多く使った給食を提供した。給食だよりには、奥三河ほうれん草の特徴や地産地消のよいところを掲載し、児童生徒の地産地消への理解を深める機会とした。



ごはん
牛乳
揚げじゃがいものそぼろ煮
浅漬け
奥三河ほうれん草のみそ汁

【新城市や愛知県の食材を中心とした献立】



【給食だより】

刈谷市

刈谷市では「愛知を食べる学校給食の日」の取組として、刈谷市でとれる切り干し大根を使ったごはんや大豆を使ったすまし汁の他、愛知県でとれる食材を使った給食を提供した。啓発資料では「愛知を食べる学校給食の日」に関連した料理や愛知県の食材を紹介し、児童生徒の地産地消への興味関心を高める工夫をした。



切り干し大根ごはん
牛乳
めひかりのフライ
刈谷市産大豆入り肉団子のすまし汁
プチ巨峰ゼリー

【刈谷市や愛知県の食材を中心とした献立】

愛知を食べる学校給食の日

毎年6月は食育月間、毎月19日は食育の日です。刈谷市では、6月19日(月)を「愛知を食べる学校給食の日」として、刈谷市産や愛知県産の地産地消産物を中心に、児童が楽しめる給食です。学校給食では、地元で収穫された食材を地元で消費する「地産地消」の取り組みを行っています。給食を通して、愛知の魅力を再発見しましょう。

6月19日(月) 愛知を食べる学校給食の日

6月19日 食育月間です!

デザート 切り干し大根ごはんと揚げじゃがいものそぼろ煮、浅漬け、奥三河ほうれん草のみそ汁

主菜 揚げじゃがいものそぼろ煮

副菜 浅漬け

牛乳 中央牛乳

主食 ごはん

副菜 揚げじゃがいものそぼろ煮

デザート 切り干し大根ごはんと揚げじゃがいものそぼろ煮、浅漬け、奥三河ほうれん草のみそ汁

「愛知を食べる学校給食の日」に関連した20～23日の料理・愛知県産の食材の紹介

20日(火) 1日みそかけしんじゆ
結城大根のかけしんじゆに、ゆで卵やアサギを合わせた料理です。アサギは、愛知県産の食材です。結城大根は、結城産の食材です。アサギは、結城産の食材です。

21日(水) 江戸時代風なおひつ
おひつは、江戸時代に流行したおひつで、おひつは、おひつ産の食材です。おひつは、おひつ産の食材です。おひつは、おひつ産の食材です。

22日(木) 1日みそかけしんじゆ
結城大根のかけしんじゆに、ゆで卵やアサギを合わせた料理です。アサギは、愛知県産の食材です。結城大根は、結城産の食材です。アサギは、結城産の食材です。

23日(金) 愛知の産物大集合
おひつは、おひつ産の食材です。おひつは、おひつ産の食材です。おひつは、おひつ産の食材です。

地産地消の良さを知ろう!

①新鮮 採れたての新鮮な食材を食べることが出来る。

②安心 産地が分かるので、安心して食べることが出来る。

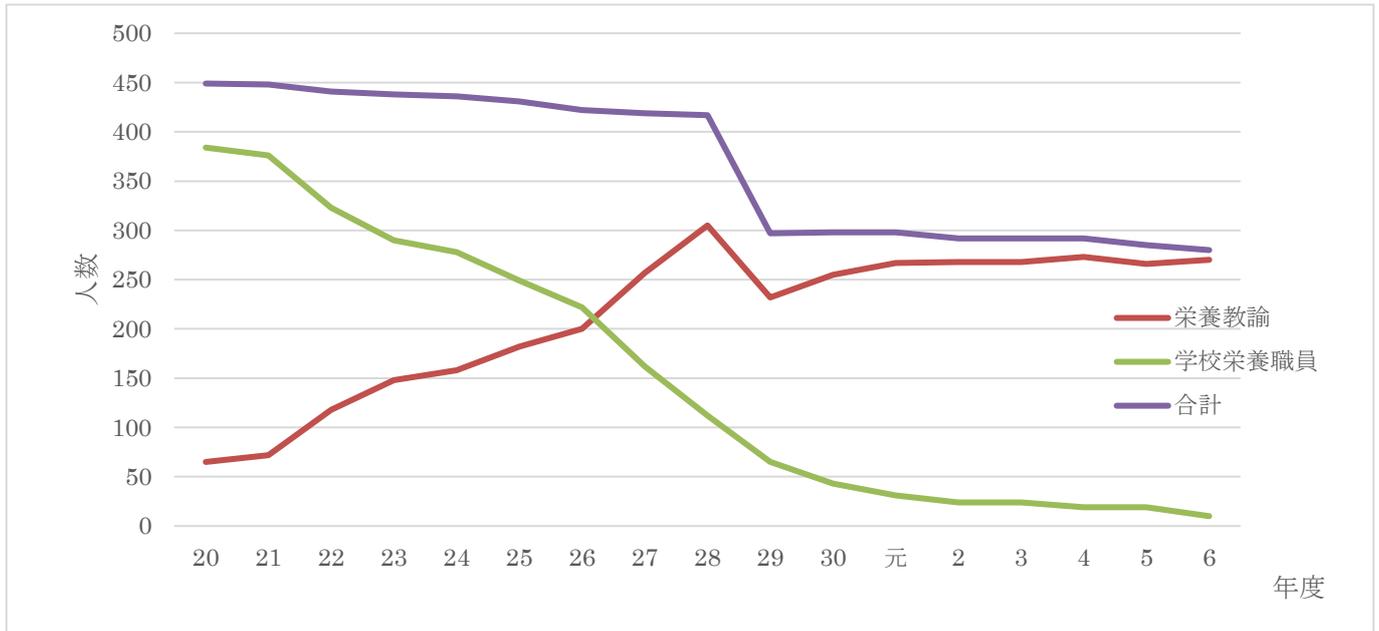
③食文化の継承 地域で採れる食材や職工技藝を知る事が出来る。

④環境に優しい 食料を運ぶ距離が短く、エネルギー削減が出来る。

【啓発資料】

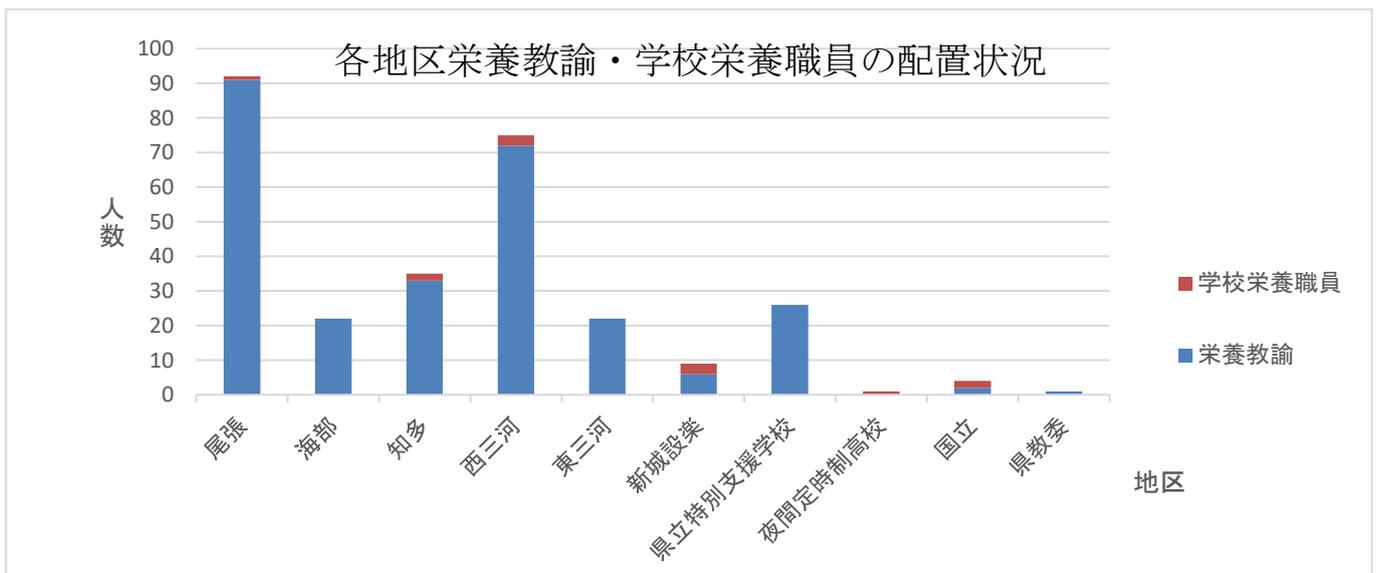
V 栄養教諭・学校栄養職員の配置状況

栄養教諭・学校栄養職員の配置数の推移



年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
栄養教諭	65	72	118	148	158	182	200	257	305	232	255	267	268	268	273	266	270
学校栄養職員	384	376	323	290	278	249	222	162	112	65	43	31	24	24	19	19	10
合計	449	448	441	438	436	431	422	419	417	297	298	298	292	292	292	285	280

※令和5年度 本協議会調査より
 他に栄養教諭の充て指導主事を平成20年度から1名配置
 権限移譲のため、平成29年度から名古屋市を除く
 国立、市町村採用は除く



各教育事務所等	尾張	海部	知多	西三河	東三河	新城設楽	県立特別支援学校	夜間定時制高校	国立	県教委
栄養教諭	91	22	33	72	22	6	26	0	2	1
学校栄養職員	1	0	2	3	0	3	0	1	2	0

※令和5年度 本協議会調査より
 市町村採用除く

VI 沿革

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
49	6	学校栄養職員を教育的専門職員として制度上明確化			
	11	97名の学校栄養職員の県費負担職員に切り替え			
	12	第1回学校給食調理コンクール開催			
50	4			愛知県学校栄養職員研究協議会発足	初代 高木 節子
	11	第2回中日本学校給食研究協議会及び全国学校給食総合センター運営協議会を愛知県で開催			
51	4	学校給食に米飯導入			2代 遠山 香代子
52	8			全国夏季講習会開始・参加	
	3			機関紙「みのり」発刊 総合研究発表大会	
53	1	「米飯給食献立集」を作成し、全校に配布			
	3	「学校給食の管理と指導（三訂版）」発行			
54	11	児童生徒の家庭における栄養調査、食事状況等調査及び体位、体力調査実施			
	3	「学校給食の栄養指導」発行			
55	7	小中完全給食実施校で100%米飯給食実施			
56	4	「主査」制度開始			
		「学校給食栄養基準量」改定			
	7	第16回全国高等学校給食協議会を開催			
	1			学校給食週間中、統一献立「カレーの日」を実施	
57	6		「日本学校健康会法」公布		
	7		特殊法人日本学校健康会設立		
58	3	「学校給食の栄養価早見表（改訂版）」発行	「新学校給食の手引き」刊行		3代 佐々木 禮慧子
59	4			校長会給食委員会合同研究参加	
	11	第34回愛知県学校給食大会開催（学校給食法制定30周年、愛知県学校給食総合センター設立10周年記念）			
	3	「学校給食の管理と指導（四訂版）」発行			
60	12		「日本体育・学校健康センター法」公布		
	3	「愛知県学校給食栄養基準量」改定		「学校給食の食事について」、 「学校栄養職員の職務内容について」	
62	4	小中学校米飯給食実施校の回数 が、週2回以上実施			
63	7		文部省の「学校給食課」と「学校保健課」が統合し、「学校健康教育課」が発足		
	3	「特殊教育諸学校における所用栄養量の基準」を算出			
元	11		学校給食100周年記念大会を開催		4代 山崎 璋子
2	4	「主任専門員」誕生	新規学校栄養職員研修が始まる		
3	4		中堅学校栄養職員研修が始まる		
	3	「学校給食の管理と指導（五訂版）」発行			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
4	7		「学校給食指導の手引き」発行		4代 山崎 璋子
5	4	中学校学習指導要領改訂「個性を生かす教育」生活科の新設「技術・家庭科」男女共学、「食物」35時間へ「栄養素の機能・正しい食品の選択」を重視			
6	4	高等学校「家庭科」を男女必須へ			
	3		体育局長通知「学校給食の食事内容について」が出され、「学校給食所要栄養量の基準」が改定		
7	5			「20周年記念誌」発行	
	11			愛知県学校栄養職員研究協議会文部大臣表彰	
8	4	教育長通知「学校給食の食事内容（標準食品構成表の改訂）について」			
		愛知県教育委員会保健体育課に専門員が配置される			
	7		腸管出血性大腸菌 0157 による食中毒の発生		
	8		体育局長通知「学校衛生の基準」の一部改正	「衛生管理面に配慮した献立の工夫－研究授業方式による衛生管理研究会－について」実施開始	
9	4	「学校給食における生野菜の取り扱いについて」通知	体育局長通知「学校給食における衛生管理の改善充実及び食中毒発生の防止について」の中で、「学校給食衛生管理の基準」が示される 「保健体育審議会」答申で、新たな免許制度の導入による学校栄養職員の資質向上策の必要性を指摘される		5代 吉見 成子
10	6		「『食』に関する指導の充実」について通知がなされ、学校栄養職員を特別非常勤講師に活用する取組の推進が図られる		
	12	「特別非常勤講師としての学校栄養職員の活用について」を通知	「小学校及び中学校学習指導要領」改訂		
	3	「学校給食の管理と指導（六訂版）」発行			
11	4	政府米を自主流通米（愛知県）に切り替え			
	5		「学校給食における食事内容について」改定		
13	4	パンの新規格4種類と白玉うどんが給食に登場			6代 住井 久子
	10	第52回全国学校給食研究協議大会を愛知県で開催			
	3		食生活に関する学習教材及び指導用解説書が作成される		
14	4		中学校学習指導要領改訂、「生きる力」の育成、「総合的な学習の時間」の新設、「中央教育審議会」答申で栄養教諭（仮称）制度などの創設を提言		
15	8	「食に関する指導者養成講座」を開催			
	9	給食にラーメン登場			
	3	「学校栄養職員執務記録簿について」を通知			
16	5		「学校教育法等の一部を改正する法律案」が成立栄養教諭が配置できることになる		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
17	4		栄養教諭制度の創設、施行		
	6		「食育基本法」成立		
	7		第一回食育推進会議開催		
	8	第46回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会を愛知県で開催			
	3		食育推進基本計画策定		
18	4	任用替え試験により10名の栄養教諭の誕生			7代 林 紫
	5			愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会に名称変更	
	11	「あいち食育いきいきプラン」第1次計画の策定		愛知県食育推進会議関係団体となる	
	2			「30周年記念誌」発行	
	3		「食に関する指導の手引」発行		
19	7			食に関する指導研修会（自主研修会）開始	
	3		「学習指導要領」改定（学校における食育の推進が明記される）		
20	4	任用替え試験により67名の栄養教諭の誕生（市町村1名配置） 愛知県教育委員会健康学習課指導主事として栄養教諭が着任	小・中学校学習指導要領が公示 小中学校間共通の家庭科内容の体系化		
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」発行 「学校給食調理場における手洗いマニュアル」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアル Part1」発行 「食生活学習教材児童生徒用と指導者用」作成		
21	4	新規栄養教諭採用開始	学校給食法が昭和29年施行以来の大幅改正学校給食の主な目的が従来の「栄養改善」から「食育」に転換 「学校給食実施基準」全面改正（摂取基準の改定） 「学校給食衛生管理基準」制定		
	6		「食育基本法」最終改正		
	3	「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成	「食に関する指導の手引（第一次改訂版）」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアル Part2」発行		
23	5	「あいち食育いきいきプラン2015」第2次計画の策定			
	2	「愛知県学校食育推進の手引」発行			
	3		「学校給食調理従事者研修マニュアル」発行		
24	4			愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会運営検討委員会発足	
	12		新年度の学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について通知		
	3	「愛知県学校食育推進の手引《実践編》」発行 学校給食モニタリング事業の実施（放射性物資の有無及び量について）			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
25	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		8代 杉浦 立子
	7		学校給食における窒息事故の防止について通知		
	10	就学児保護者向け朝食啓発資料「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをつくろうリーフレット」発行			
	11	「学校食育資料(高校生向け資料)」発行			
	3		「学校給食施設設備の改善事例集」発行		
26	3	「学校給食の管理と指導（七訂版）」発行 「学校給食における食物アレルギーヒヤリハット事例集」発行	「学校給食における食物アレルギー対応指針」発行		
27	2	「学校における食物アレルギー対応の手引」発行			9代 杉野 由起子
	3			「40周年記念誌」発行	
28	1	「学校における食物アレルギー対応保護者向けリーフレット」発行			10代 林 紫
	3		「学校指導要領」改訂（学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育の推進が示される） 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」発行		
29	11	「愛知県教員育成指標（栄養教諭）」の策定			11代 古林 郁子
30	8		学校給食実施基準の一部改正について施行		
	1	「学校における食物アレルギー対応の手引～特別支援学校版～」発行			
	3		「食に関する指導の手引（第二次改訂版）」発行		
元 (31)	5			愛知県栄養教諭研究協議会に名称変更	12代 小田 敦子
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」発行 新型コロナウイルス感染症対策のため、3月2日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、全国一斉臨時休業になる。		
2	4	愛知県に緊急事態宣言が発令されたため、4月7日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、臨時休業が延長になる。			
	5	5月18日から24日まで学校再開準備期間となる。			
		5月25日から、分散登校・時差登校を基本として、学校を再開する。			
	6	6月1日から通常授業になる。			
3	愛知県食育推進会議（会長：愛知県知事）において、「あいち食育いきいきプラン2025～第4次愛知県食育推進計画～」が作成される。	「第4次食育推進基本計画」が食育推進会議（会長：農林水産大臣）で決定される。			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
3	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		13代 堀端 千鶴
	5				
	9			地区別研修会 (自主研修会) 開始	
	3	「愛知県学校食育推進の手引―第1次改訂版―」発行			
4	6			第17回食育推進全国大会 in あいちに出展	
	7			栄養教諭経験年数別研修会 (自主研修会) 開始	
	1		養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議 議論の取りまとめ」報告出される。		
5	4		健康日本21(第三次)の運用開始		14代 服部 裕子
	5				
	12			資質能力向上研修 (自主研修会) 開始	

VII 令和6年度 愛知県栄養教諭研究協議会役員・理事名簿

会 長	服 部 裕 子	稲沢市立大里東小学校
副 会 長	池 田 明 美	西尾市立一色南部小学校（西尾市学校給食センター）
〃	重 田 玲 子	豊田市立豊田特別支援学校
書 記	毛 利 敦 子	一宮市立大徳小学校
〃	戸 本 綾 子	春日井市立篠木小学校(春日井市東部第2調理場)
会 計	則 武 和 美	
県代表者	森 田 咲 紀	愛西市立佐織西中学校
常任理事	杉 野 由起子	瀬戸市立にじの丘小学校

【地区理事】

愛 日	水 野 盛 子	春日井市立味美中学校(春日井市稲口調理場)
〃	周 防 明 子	瀬戸市立瀬戸特別支援学校
〃	栗 木 公 美	日進市立北小学校(日進市立学校給食センター)
中 島	前 田 美 香	一宮市立丹陽南小学校（一宮市南部学校給食共同調理場）
丹 葉	河 合 聖	大口町立大口中学校（大口町学校給食センター）
海 部	佐 藤 香 名	津島市立神守中学校（津島市神守学校給食共同調理場）
〃	小 川 晴 香	弥富市立日の出小学校
知 多	山 本 紀 子	武豊町立富貴小学校（武豊町学校給食センター）
〃	氏 原 舞 美	知多市立佐布里小学校（知多市立八幡給食センター）
西 三 河	梅 村 綾 子	岡崎市立大樹寺小学校(岡崎市北部学校給食センター)
〃	二 村 翠	刈谷市立小垣江小学校（刈谷市第一学校給食センター）
〃	伊 藤 学	西尾市立吉田小学校（西尾市学校給食センター）
豊田みよし	浅 海 有 里	豊田市立平和小学校（豊田市平和給食センター）
東 三 河	磯 部 里 美	蒲郡市立竹島小学校（蒲郡市学校給食センター）
〃	山 本 加奈子	豊橋市立福岡小学校（豊橋市南部学校給食センター）
特別支援	山 崎 絵里奈	愛知県立小牧特別支援学校